

ひめまつ

68



宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

ひめまつ
目次
第六十八号

表紙……北原美咲
校歌
題字……石川木魚
生活目標

グラフ
「学園の四季」

靖国参拝と歴史認識 …………… 校長 須賀 淳 …… 1

随想

「女性が輝く日本」と「世界に勝てる若者」 …… 副校長 須賀 英之 …… 4

論説

特集1

演劇部 劇(部)的ビフォーアフター …………… 7
進め！ 演劇部！

特集2

生活教養科・活動報告 …………… 9
手作りのエプロン寄贈／栃木県誕生一四〇周年記念イベント出演
コボリ洋菓子店との共同開発《シトロン・ビジュ》／南ヶ丘牧場との共同開発《カラメルフロマーシユ》

特集3

調理科・活動報告 …………… 11
第一回調理科イタリア海外研修旅行で学んだこと／古川東中学校お礼状

コンビニ	〜お・も・て・な・し〜	三年	一組	小倉	主子
学食のすゝめ		三年	三組	北原	美咲
みんなの活用場	〜学食&コンビニ〜	三年	十五組	假家	千里
ファミリーマートの舞台裏		三年	十八組	橋本	直季
教育会館学生食堂	インターンシップ	三年	二十二組	齋藤	暢一
マイファミリー		二年	一組	松本	佳純
学食+わたし!!青春!!		二年	三組	沼野井万希子	
「我らが学食」		一年	二組	藤原	昌広

平成二十五年度 校内読書感想文コンクール入賞者

心に強く響くもの

校内読書感想文コンクール入賞作品

【第三学年の部】校長賞

第一位	サン!!テグジュペリ著「星の王子さま」を読んで	三年	五組	山本	真理亜
第二位	萩原 浩著「ひまわり事件」を読んで	三年	十一組	上澤	加奈
第三位	藤原 正彦著「国家の品格」を読んで	三年	二十三組	川口	真由

【第二学年の部】校長賞

第一位	片川 優子著「佐藤さん」を読んで	二年	一組	小松崎	将吾
第二位	あさの あつこ著「NO.6」を読んで	二年	六組	木村	円香
第三位	石田 衣良著「余命一年のスタリオン」を読んで	二年	五組	福田	隆平

【第一学年の部】校長賞

第一位	遠藤 周作著「海と毒薬」を読んで	一年	二組	長瀬	怜
第二位	太宰 治著「人間失格」を読んで	一年	一組	神尾	ひかり
第三位	谷川 浩司著「集中力」を読んで	一年	二十五組	小倉	賛子

各種コンクール入賞作品

〔東京未来大学 懸賞論文 2013〕

優秀賞 「四ヶ月間成長期」

二年 一組 小松崎 将吾

〔第十回「新聞を読んで」コンクール〕下野新聞社主催

高校三年 最優秀賞 効き目とリスク

三年 一組 千葉 友紀子

高校一年 最優秀賞 「ペンは剣よりも強し」

一年 一組 荒井 陸人

高校一年 入 選 さよなら仮設の学びや

一年 十三組 吉田 瑠那

〔国税庁「税に関する高校生の作文」〕

租税教育推進協議会会長賞 税のない世界

一年 二組 川又 朋生

宇都宮税務署長賞 税を知る

一年 二組 蓬田 陽介

〔心の輪を広げる体験作文〕

高校生部門 優秀賞 「あの日から考えたこと」

二年 九組 内田 敦之

高校生部門 佳作 「兄」

二年 十組 荻屋 琳香

〔どちの環県民会議「エコボエム」〕

特別賞 「地球すごろく」

三年 一組 小倉 主子

〔全国短歌フォーラムin塩尻〕

高校生部門 入 選

二年 一組 松本 佳純

〔税の百人一首〕宇都宮税務署

租税教育推進協議会会長賞

三年 一組 鈴木 佑樹

あとらんだむ 生徒作品集

【一年間の反省と二年生になる抱負】

【二年間の反省と最上級生になる抱負】

【随想】

【詩】

【短歌】

《普通科応用文理コース三年十一組》

旧・一年 六組 渡辺 紗里奈
 旧・一年二十三組 野原 優人
 旧・二年 一組 小倉 主子
 旧・二年 九組 青木 怜子
 旧・二年 十七組 岩渕 真子
 旧・二年 十九組 中山 翔誠

三年 一組 北澤 進之助
 三年 四組 高橋 慶太
 三年 十八組 池田 圭織
 三年 十八組 高橋 美華
 一年 十二組 鈴木 雄貴
 一年 十二組 篠崎 真也
 一年 十二組 戸澤 萌々香
 一年 十二組 水野 桃香

三年 一組 杉田 十和子
 三年 二組 内山 柊
 三年 二組 野田 雅史
 三年 二組 三村 大樹
 三年 四組 石戸 弓絵
 三年 四組 沖西 華恵
 三年 十一組 河村 崇広
 三年 十一組 神山 大輔
 一年 十三組 相馬 拓斗

大垣 拓巳
 大島 司
 金田 優香里

青春は華でありんす
 青春が聞こえる
 軽快に
 茂みの中の宝物

二年 二組 神長 勇希
 二年 二組 岸本 俊哉
 二年 二組 栗田 貴啓
 一年 一組 石田 匠

【社会への提言】

親の教育について
 この時代を生き抜くために
 日本の政治を考える
 日本の政治を考える

三年 二十組 工藤 小夏
 三年 二十組 佐久間 海
 一年 十二組 池嶋 克哉
 一年 十二組 小磯 弦太郎

旅行記

旅行記
 沖繩に残る記憶
 赤門の向こう側
 夢の早稲田
 お台場探検
 一日旅行の思い出
 記憶に残る一日旅行
 体験
 芸術と触れあった一日
 団結のきっかけに。

二年 四組 中村 颯人
 二年 十組 浅井 きらり
 二年 一組 松本 佳純
 二年 十組 吉田 雄樹
 二年 十四組 別井 美咲
 二年 十九組 佐藤 結香
 二年 二十一組 黒崎 亜耶
 二年 二十四組 青木 志帆
 二年 二十五組 柴田 美由紀
 一年 三組 齋藤 絢香

わがホームルームの紹介

三年・二年・一年

委員会・部活動報告

風紀交通安全・図書・美化・茶道・華道・理科・服飾手芸・囲碁将棋・弓道・演劇・写真・吹奏楽・合唱・
 硬式野球・女子サッカー・男子サッカー・卓球・水泳・女子バレー・男子バレー・硬式テニス・男子ソフトテニス・

女子ソフトテニス・バドミントン・男子バスケット・女子バスケット・柔道・剣道・応援団・スポーツチャンバラ・JRC・インターアクトクラブ

学園ニュース 115

附属中コーナー 119

この一年間のおもな活躍・クラス紹介・行事紹介・作品集コンクール入賞作品・写真で見る中学校生活

宇都宮共和国・宇都宮短期大学コーナー 137

宇都宮共和国／シテイライフ学部 子ども生活学部

シンポジウム・公開講座・トピックス・イベント・就学支援・スカラシップ・
インターシップ・進学・就職指導・履修モデル

宇都宮短期大学／人間福祉学科

教育実習生、母校の教壇に 152

数 学 科	東 京 理 科 大 学	酒 井 諒
音 楽 科	東 京 音 楽 大 学	小 林 可 奈
英 語 科	中 央 大 学	柏 木 則 重
社 会 科	宇 都 宮 共 和 大 学	新 野 美 月
社 会 科	宇 都 宮 共 和 大 学	齋 藤 健 史

平成二十五年度生徒会報告 158

主な大学合格者数一覧(過去三年間) 主な就職内定状況(平成二十五年度) 164

編集後記 166

編集委員長・齋藤 麻優

校史と校章

学園の四季



新入生～高校生活のはじまり～

入学式

H25.4



誓いの言葉～期待に胸が膨らみます～



男子バスケット

スポーツ
フェスティバル
H25.6



卓球



応援にも熱が入ります!

入試激励会

H25.12



～合格を祈願して～

合唱
コンクール

H25.7



美しいハーモニーの響き

Infinity ~拓こう 無限大の可能性~

須賀学園創立113周年を記念した中学・高校合同の学校祭が11月9日に大勢のお客様をお迎えし、本学園教育会館と須賀栄子記念講堂大ホールにて盛大に行われました。

各科・各クラス・各部ごとに日頃の勉強や練習の成果を披露するとともに、絆を深める1日となったようです。

創立
113周年記念
学校祭
H25.11



大勢のお客様でにぎわう模擬店



オープニングセレモニー(プラスバンドの演奏)



リピーターの多い、ココナッツサブレ販売



毎年大人気の生徒会バザー





音楽科によるオペレッタ上演
(記念講堂大ホール)



utanf6のダンス(野外ステージ)



各コースによる研究発表(教育会館)



調理科による卒業製作展示(教育会館)



「おいしい焼きいかがですか〜?」

修学旅行 in 沖縄 H25.12



大空へジャンプ!



本格的な冬を前に、2年生は修学旅行に出発。現地では、12月とは思えない温暖な気候の中で、さまざまな体験を通して友情を深めてきました。



世界遺産 首里城



琉球村



青い海をバックに!!



イノー観察



美ら海水族館 -大迫力のジンベイザメ-



沖縄県立博物館

体験学習



郷土料理



エイサー



サトウキビ収穫



三線



紅型



やちむん

随想

靖国参拝と歴史認識



昨年末に行われた安倍晋三首相の靖国神社参拝は、平成二五年をしめくくる大きなニュースとして全国に報じられた。予想どおり中国や韓国は早速きびしい反発を示した。日本の同盟国であるアメリカが「失望し

た」と表明したことは予想外であった。

日本の主なメディアは、安倍首相批判で歩調を揃えたが、果たして肝心の日本国民はこの安倍首相の靖国参拝をどのようにとらえているかが私の興味のあるところであった。たまたま私が見た民放テレビのワイドニュース番組では、視聴者がリモコンのボタンを押して、即座に賛否の結果が画面に出る今流行りの方式であった。その結果は、首相の靖国参拝について「よかった」が七八%、「よくなかった」が二三%と、圧倒的に賛成の結果が出たため、番組のキャスターはあわてて何らコメントすることなく早々に話題を切り替えてしまったのが印象的であった。

一方、世界のメディアにニュースを配信している共

校長 須賀

淳^{あつし}



文部科学省の学習指導要領(小・中・高) — 今回の改訂に際して、全国の先生方全員にはじめて無償配布が行われた。

同通信社が実施した全国緊急世論調査では、首相の靖国参拝について「よかった」が四三・二%、「よくなかった」が四七・一%（合計は一〇〇%にならない。）と報じ、「批判的な意見が多かった」とのコメントがつけられていた。しかしこの賛否の数字の上からは「肯定派、否定派が拮抗している」とするのが妥当なところであろう。いずれにしろ日本国民の多くは「靖国神社で戦没者の霊に祈りを捧げ、日本国民が再び戦争の惨禍に苦しむことのないよう取り組み」という安倍首相の決意に理解を示したといえよう。

首相の靖国参拝に限らず、中国や韓国とわが国の歴史認識には大きな違いがある。このため学校で使用される教科書の記述について、中国や韓国と日本の間で協議して共通の歴史認識を図ってほしいという議論もかつてあったが、独立国家の主権にかかわることであり、とうてい不可能なことと思われる。韓国としては明治四三年（一九一〇）の日韓併合の経緯やその後の独立運動について日本国民によく知ってほしいであろうし、中国は日中戦争を日本の侵略行為として主張したいであらう。

一方、日本国民は、昭和二〇年（一九四五）八月九日にソ連（ロシア）が日ソ中立条約を一方的に破棄し

て満州（中国東北部）に侵攻し、僅か一週間後に太平洋戦争が終戦となるや、ポツダム宣言を無視して五八万人の日本軍兵士をシベリアに抑留して強制労働をさせ、飢えと寒さによって五万人の日本人の命を奪った事実を決して許すことはないであろう。またアメリカによる広島、長崎への非人道的な原爆投下も決して忘れることはない。しかし、ソ連（ロシア）やアメリカから日本国民に対して謝罪や賠償は一切ないのが現実である。

このように外国と歴史認識などに違いのある事柄について、日本の学校教育では生徒たちにとのよう指導することとなっているのであろうか。日本の学校教育の内容を定めている文部科学省の学習指導要領では、例えば中学校の社会（公民的分野）において、「内容の取扱い」として、「世界平和の実現」については「領土（領海、領空を含む）、国家主権、主権の相互尊重、国際連合の働きなど基本的な事柄を踏まえて理解させるように留意すること」と述べられている。

竹島や尖閣諸島で日本の領土や領海を侵犯している韓国や中国には、この日本の学習指導要領を見習ってほしいものである。

なお、本年一月末に、文部科学省においては、小・

中・高校の学習指導要領の解説書を改訂し、竹島や尖閣諸島等の日本の領有権について、教科書に明確に記述するよう指示するとともに、学校の授業においても生徒に具体的に指導するよう指示した。



校務は高校職員室の校長席で執る。「はい、ポーズ」卒業生と記念撮影。校長の隣りは須賀万里子副校長

論説

「女性が輝く日本」と「世界に勝てる若者」



副校長 須賀英之

アベノミクスの成長戦略

アベノミクスの提唱により、一昨年来、円安や株価上昇が進み経済の先行きに明るさが見られるようになっていきます。その施策は「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」という三本の矢です。

日銀と一体となった金融緩和と災害対策を中心とする財政出動は、これまでのところ順調に推移していますが、一方、

成長戦略にはまだ具体性が乏しいのが現状です。好転している景況感が今後も持続できるかは、この成長戦略にかかっています。規制緩和により民間企業の活力を生かして産業経済の構造改革を進めるといっても、これは長年の課題で縦割り行政の限界もあり、そう簡単に進むものではありません。そこで、安倍総理が強調していることは、「女性が輝く日本」と「世界に勝てる若者」というスローガンです。

少子高齢化の時代ですから、働くお母さんをいかに社会全体で支えていくか、という子育て支援策として保育所や保育士の拡充などは、第一に急がねばなりません。しかし、そうした社会政策だけでなく、女性の昇進の機会を増やして、できるだけ管理職に登用し、真の男女共同参画社会にしていこうという方針も示されています。このため、「社会のあらゆる分野で二〇二〇年までに、指導的地位に女性が占める割合を三〇%以上とする」という大きな目標が掲げられました。一方、グローバルな展開を進める企業活動に対応して、国

際的な視野と能力を若いうちから育てていこうという様々な施策の具体化も進んでいます。

将来、国際的に活躍したいという生徒や社会のリーダーになりたいという女子生徒の皆さんには、可能性がさらに広がる時代になると、私は期待しています。

しかし、そのためにはどのような心構えが必要か。「女性が輝く」と「国際人材」という目標に関して、ネット企業DeNAの創業者である南場智子氏の生き方を参考にしては行かざらうか。

社員六名から十五年間で二千名に成長

南場氏は一九六二年に新潟市の厳格な家庭に生まれ、地元の大学に行くことを勧めた父親の反対を押し切って津田塾大学英文学科に進学し、在学中に米国に留学し経済学を学んだことから、卒業後は米系コンサルタント会社のマッキンゼーの日本人に就職しました。ハーバード・ビジネススクールでMBAを取得したのち、頭角を現し三十四歳の若さでマッキンゼーの役員に就任しましたが、ある日、ネットオークションのビジネスを志すため退社して、一九九九年にDeNAを起業しました。

実は、私が以前、銀行員だった頃の同僚が銀行を結婚退職後、創業時の社員六名のうちの一人として参画したことから折に触れて会社の様子を聞いて関心を持つてきました。一五年間で売上高一千五百億円、従業員二千名の世界的な上場企業に成長した経緯を綴った著書「不格好経営―チームDeNAの挑戦（日本経済新聞出版社）」は最近、ベストセラー



になりましたが、その中の創業当時の写真は、私の元同僚が「将来必ず成功して社史を作る」という意気込みから、「写真です（レンズ付フィルム）」で撮っていたものが使われているそうです。

失敗と挑戦を続けたDeNA

南場氏はマッキンゼー時代にハワイで買い物をした際、ショッピングセンターの店員から「なぜ、オークションで持ち物を買って新しい物を買わないのか」、と勧められたことをヒントに、ネットオークション（ビッダーズ）を起業したものの、その後は失敗と挑戦の連続でした。

パソコンによるネットオークションはヤフーや楽天の追随を許したため、いち早く携帯電話によるサイト（モバオク）に切り替え、その後、ネットショッピング、ネット広告（ポケットファイリエイト）、携帯ゲーム（モバゲータウン）、スマホでのソーシャルネットワークサービス（モバゲー）、プロ球団の所有と、技術革新と消費者の変化をとらえてダイナミックな変革を決断して、米国、欧州、アジアと世界中に事業展開を進めました。

「成功のモデルは（市場から）壊される前に（自ら）壊さなければならぬ」。勝ちパターンにこだわって新しいトレンドを見失うことを「成功の復讐に合う」とまで表現しています。

また、社長として優れた人材の採用に最大の精力を傾け、「まっすぐで、一生懸命で、馬力と学習能力に富む素人集団」をまとめて世界一になるという目標を掲げました。今、振り返ってみて、「私は仲間にも恵まれた」と言えることがDeNAの成長の最大のカギだったと、私は感じています。

人は仕事を任せられることで育つ

二〇一一年にご主人の看病のため社長を後進に任せ、ご自身は非常勤取締役に退きました。しかし、最近では、ご主人の体調も改善したとのことで、マスコミに登場する機会も増えていきます。

南場氏によれば、「職場では自分が女性であることはあまり意識することがないし、女性として苦勞を感じたこともなかったが、得をすることはあった。ビジネスの相手に女性というだけで話を聞いてもらえたことだ。しかし、それを自分の実力と勘違いすると不幸な顛末になる。女性であることを振りかざして権利意識や被害者意識の塊になると、単に厄介な人になる。」と。

また、「国力のため女性を活用した方が良いというのは、その通りだが、形式的に『女性を一人管理職に入れておこう』というのには反対。『本物』の女性もいるのに、女性ってそんなものだ、となってしまうリスクがある。経営では、『適材適所』以外はあり得ない。説教や研修ではあまり人材は育たない。出来るか否か半々といった仕事を任せることでしか育たないのではないか。」と示唆しています。

独自の思考と突破力を有する人材を世界へ

DeNAの海外展開はゲームから始まりましたが、当初は日本のゲームをそのまま輸出するということなく、米国向け、中国向けなどと工夫し地域性を強く意識していました。

しかし海外で最初に大ヒットしたのは日本のゲームとまったく同じものだったため、このやり方でやり続けても上手くいかず、次は現地化したものが成功したり、こうした試行錯

誤の繰り返しでした。ちよつとした競争心や何かを積み上げていく楽しさに世界共通のものがある一方で、文化的背景によって大きく違うものもあるので、「その辺が完全に分かれれば苦勞しない」と言っています。

これからは、「国境を閉じてなせることは無く、世界中のリソースを柔軟に活用できるチームこそ大きな成果が得られる。独自の思考と突破力で結果を出せる人材は、言語や文化の境目なくユニバーサルに求められる。」とのこと。

常識を打ち破る創業者の教え

本校の創立者である須賀栄子先生は、「女性には教育は不要」という旧い封建時代の名残りが強い風潮の中で、「女性には高い知性と確かな技術能力を身につけることが必要」との信念を持っていました。そこで、二七歳の若さで栃木県初の私立の女子高等教育機関を創設しました。寄宿舎で生徒と寝食を共にしながら、「人間形成の教育（全人教育）」を身をもって実践されたのです。

現代ではグーグル、アップル、アマゾンなど世界的なネット企業はすべてが米国発です。その中で南場氏は、「日本からEコマースで世界一を目指す」という心意気でDeNAを創業しました。

生徒の皆さんには、ぜひ、こうした世間の常識を打ち破って、新しい時代の扉を開いて欲しいものと心から願っています。

演劇部

劇(部)的ビフォーアフター
〜なんといいことぞじょう〜

平成二十五年 演劇部活動記録

- 新入生歓迎特別公演
- 宇都宮市内高等学校演劇連盟夏季研究発表会 参加
- うつのみやジュニア芸術祭学校演劇祭 (ジュニア芸術祭大賞)
- 学校祭特別公演
- 栃木県高等学校総合文化祭研究大会 (優秀賞・生徒講評委員奨励賞)
- とちぎの高校生人権劇場事業発表会 (優秀賞)

今年度大活躍の演劇部。しかし、演劇とはどういうものかが分からない人も多いのではないだろうか？この特集では「演劇とは何か？」をテーマに、その魅力を部員の皆さんに脚本形式で語ってもらうことにしました。

進め！ 演劇部！

部長にスポットライト。

部長 さて問題。「演劇部」を英語にすると
なあ〜んだ？ え？ 知らない？

じゃあ教えてあげるね。
答えは「drama club」！
そう、演劇はドラマだっ！

部長、決めポーズ。
副部长と部員がやって来る。

部員 一人で何してるんですか？
部長 うわっ、え、あの。
副部长 キモッ。

部長 キモくないっ！
副部长 で、何してたの？
部長 ふっ。この生徒会誌「ひめまつ」で
演劇部の特集を組んで頂いたから、
読者の皆様に演劇とは何か教えて
あげようと思って。

部員 あげようと思って。
副部长 偉そうに…何様のつもりかしら。
部員 ね〜っ。

部長 君達二人は僕を尊敬してないでしょ。
部員 そんなことないですよ。
部員 ならいいけど。

部長 「二人は」じゃなくて「部員総勢二十三名は」です。
部員 やっぱりよくない！

副部長 くら部員、違うでしょ。
部長 そうそう。

副部長 部長を引いて二十二名でしょ。

部員 あ、そっか。てへ。

部長 てへ、じゃないっ！

副部長 なんなんだよ、僕は部長だぞっ！

部長 そこ、気をつけ！

副部長 え、あ、はい。

副部長 部員よ、演劇とは何かしら。

演劇とは「作者の仕組んだ筋書にもとづき、演者が舞台の上で言葉・台詞によって物語・人物また思想・感情などを表現して観客に見せる「総合芸術」BY広辞苑、です！

副部長 長いっ！

部長 そうだそうだ。

副部長 では部長、魂の叫びをどうぞ。

部長 ……演劇はドラマだっ！

副部長 その通りっ！ 私達は、演劇を通してドラマティックに「感動」をお届けいたします。笑い・喜び・怒り・悲しみ…深く感じて心が動くことが「感動」です。宇短附高校演劇部の活動を、皆さん、応援してください！

ありがとうございます！

部長 なぜ君がめる…
（完）



手作りのエプロン寄贈

本校創立者である須賀栄子先生の命日にちなんだ「やさしい心づかい運動」の一環で、生活教養科の生徒が製作した手作りエプロン一三枚を宇都宮市役所に寄贈しました。

今年で二十五回目の行事で、一年生が入学後初めて製作を担当しました。毎年保育園実習などでお世話になる皆様に感謝の気持ちを込めて、子ども部長の高橋利幸さんに手渡ししました。これからも継続していきたいと思っています。



▲宇都宮市役所に手作りエプロンをプレゼント、高橋子ども部長と一緒に



栃木県誕生140年 県民の日記

▲県庁・議事堂の大階段でのファッションショー 福田知事と一緒に記念撮影

栃木県が誕生して一四〇年を迎えた六月十五日に、県庁のイベントが行われ、県議会議事堂一階にて生活教養科がファッションショーを行いました。

ウエディングドレスをはじめ、ワンピースやカクテルドレスなどを披露し、華やかなショーとなりました。



栃木県誕生一四〇周年記念イベント出演

コボリ洋菓子店との共同開発《シトロン・ビジュ》



▲コボリ洋菓子店とのスイーツコラボ第2弾!「シトロン・ビジュ」の発売
オリジナルデザイン宮染めの浴衣を着て記者発表

コボリ洋菓子店と生活教養科の生徒が共同開発し、レモンケーキ「シトロン・ビジュ」というオリジナルスイーツを共同開発しました。

共同開発は二〇一一年に生まれた「フイナンシエールビジュ」から始まり、二回目になります。今回は生活教養科一〜三年生(二八九点)のレシピの中から三年生の佐藤葵さんのレシピが選ばれました。このレモンケーキは、濃厚なサワークリームが

練り込まれた生地の中に、レモンのグラッセが混ぜられたスイーツ。甘酸っぱいレモンの風味が口いっぱい広がるのが特徴です。商品名には、かんきつ系(シトロン)の宝石(ビジュ)の意味が込められています。佐藤さんをはじめ、田中芹奈さん、船生郁巳さんの三人でプロジェクトチームを作り、小堀社長の指導のもと商品化されました。

販売開始の日には、船生さんがデザインした宮染めの浴衣姿で店頭に立ち、商品のPRなどを行いました。「シトロン・ビジュ」は一個一六〇円で今年の九月まで販売されます。

南ヶ丘牧場との共同開発《カラメルフロマージュ》



▲南ヶ丘牧場との共同開発「カラメルフロマージュ」の試食販売

那須湯本にある南ヶ丘牧場と生活教養科の生徒が、オリジナルスイーツ「カラメルフロマージュ」を共同開発し、「牧場のパンとお菓子の店」で昨年の九月十五日から十月十四日まで、約一か月間販売しました。

商品の共同開発は今回が初めてで、レシピ考案者は生活教養科三年生の渡辺綺華さんです。このスイーツは、「チーズケーキがよりおいしく食べられるように自分が好きなものを詰め込んだ」というコンセプトで生まれました。チーズケーキの上に、ほろ苦いカラメルソースとザクザクとした食感のくるみがトッピングされています。ベースのチーズケーキには、南ヶ丘牧場の名物「ガーンジイゴールドンミルク」がふんだんに使用されており、とても濃厚です。商品は好評で、初日は三時間で五〇個が完売するほど大盛況でした。



「第一回調理科イタリア」

海外研修旅行で学んだこと

調理科二年（現三年）

立谷 葉奈

私は、記念すべき第一回調理科イタリア海外研修旅行（平成二十五年二月七日（十三日））に、昨年の調理科フランス研修旅行に続いて、参加させていただきました。イタリアとフランス、そして日本の文化や歴史を感じ、新たな発見と感動がありました。

二月七日（木）学校出発が早朝にもかかわらず、多くの先生方と保護者にお見送りいただきました。この研修が、多くの人たちに支えられていた事を実感する光景でした。成田空港までの車中、これから始まる研修への期待感に自然と笑顔がこぼれ、イタリアの話題に花が咲きとても盛り上がっていました。あつという間に成田空港到着です。そして約十三時間の空の旅が始まりました。研修はもう始まっています。いろいろな事にチャレンジしなくてはと、英単語を駆使してC Aと会話を楽しみ、笑顔いっぱいの写真も撮りました。そして、いよいよドイツ・フランクフルトでトランジット、イタリア・ミラノに到着です。ホテルへの車窓から見える夕暮れの街並みに、ふたたびヨーロッパの地を訪れることができたという感動が湧いてきました。ホテルに着くと、早速本場イタリア料理の夕食です。メニューはトマトペンネとフルーツサラダ。トマトペンネは日本で味わうものとはあまり違いがなく、日本人の技術力の高さに驚きました。食後のフルーツは酸



▲ミラノ・ドゥーモにて

味が強く、パサパサした感じがありましたが、これも食文化の違いのひとつだと思えます。その後部屋に戻ってくつろいでいると、隣の部屋の声鮮明に聞こえてきます。びっくりしましたが、これもイタリアらしい一面です。初日から日本とイタリアのいろいろな違いが発見できました。

二月八日（金）ミラノ市内観光です。まず「ドゥーモ」に行きました。外観の美しさと壮厳さに感動しました。大聖堂内に入り、まず目にとまったのはステンドグラスです。一枚一枚に絵が描かれていて、外から光が射し込みキラキラと輝きます。順番に見ていくと一つの物語になっていました。文

昼はリストランテでランチです。サフランリゾット・ミラノ風カツレット・アップルケーキ。日本のリゾットは軟らかいお米ですが、イタリアではお米に芯が残っていて少し硬い感じですが、ミラノ風カツレットにはポテトもついていて油っぽいものかと思いましたが、意外とさっぱりしていました。どちらもイタリアならではの味わいです。その後バスでフィレンツェに移動し、「I Portale」で夕食。メニューはラザニア・ポークソテー・プリン。ラザニアは、今まで食べたことのあるラザニアの中で一番美味しいものでした。プリンは日本の味と少し似ていて、ふるさと日本がちよっぴり恋しくなりました。その後ホテルに行き疲れを癒そうとお風呂に入ると、なんと最初はお湯が出ません。私たちのバスルームには「冷たい。寒い」の叫び声。

二月九日(土) 本研修旅のメインである「アピシウス料理学校」での調理実習です。まず実習内容の説明を受け、四品の調理実習が始まりました。コミュニケーションをとるには、英語を使わなくてはいけないので緊張しましたが、現地の学校の先生方や生徒の方々がジョークで場を和ませてくださり、楽しく会話をすることが出来ました。料理作りは手慣れているので、四品の料理を無事に作り上げ、昼食とし



▲フィレンツェにて



▲アピシウス料理学校にて

れも欲しい！これも欲しい！」とウインドーショッピングをしていると、ここは橋の上だということ忘れてしまっただけでした。次に「ウフィッツィ美術館」での芸術鑑賞です。メデイチ家が収集した三万点の絵画があり、テレビや雑誌で見たことのある絵画がたくさん展示されています。特に「ヴィーナスの誕生」は、人間味溢れるタッチの柔らかさに、ルネサンス文化の華やかさを感じました。その後、石造りの街並みを見ながら市街地を散策しているとメリーゴーランドがありました。私たちも童心に戻ってはしゃぎながら木馬や馬車に乗って楽しみました。夕食はリストランテ「Caffe・Bigallo」で楽しみました。とても大きなステーキが出てきて驚きましたが、おかげで半日歩き続けて空っぽになっていたお腹が満たされました。

二月十日(日) 早朝の散歩に出かけました。観光客であふれていた

でお腹いっぱい食べました。午後は「ドゥーモ」に行きました。まずは天国の門です。門には旧約聖書の物語が刻まれています。見ているだけで楽しめました。聖堂内に入ると巨大なクーポラがあり、その彩色の美しさに感動しました。また、神聖なキリストの絵の真向かいには人を食べている悪魔が描かれています。善と悪の対比の表現方法に興味を惹かれました。次にフィレンツェで最も古い橋で、家付き橋と呼ばれている「ポンテヴェッキオ」に行きました。橋の両側に金銀細工の店が並んでいて、「あ



▲アビシウス料理学校にて

にはなぜか疲れきってました。恐ろしや巨大スーパーマーケット！また、疲れを癒すためにジェラートを注文してみました。店員さんが差し出したものは私が欲しかったものとは違いました。でもなんとか本場のジェラートを味わえることができ、その味と自分で買えたという達成感は最高でした。

話してくださいました。焼き上がったピザの大きさは日本の倍くらいありましたが、さすが本場のピザは美味しくて、つついたくさん食べてしまいました。お腹がいっぱいになった後、「コロッセオ」に向かい、古代ローマ帝国の歴史に驚きと感銘を受けました。その後「トレヴィの泉」に行き、ローマに再び来られるように願いを込めて後ろ向きにコインを投げました。そしてジェラートを食べ、「ローマの休日」気分を味わいました。また、嘘つきが手を入ると食べられてしまうという伝説がある「真実の口」では、私をはじめ皆、手を食べられてしまうことなく記念写真を撮ることができ感激。夕食は一つ星レストラン「AIIORO」です。今までのレストランとは違い緊張感が漂っていました。周りを見ると、綺麗なドレスで着飾った女性とスーツを着こなした男性ばかりです。セレブの世界で食事をしている

二月十一日(月) レストラン「スコーリオ・ディ・フリージオ」でピザ作りを体験しました。ピザ生地を自由自在に扱うプロの手さばきはさすがでした。また料理に対する心の持ち方などお

んだなと思いました。

そして二月十二日(火) 研修最終日。「ヴァチカン美術館」の見学です。とても広く短時間では全て見ることは出来ませんでした。有名な「最後の審判」・「キリストの埋葬」など、一度は見てみたいと思っていた絵画を見ることが出来ました。「システイナ礼拝堂」はとても神聖な場所です。キリストの姿に涙を流している人もいてとても清らかな気持ちになりました。そしてなんと、この日、ローマ法王が生存中に退位するという歴史的な出来事に遭遇しました！街中を歩くたび報道カメラマンと出会い、ここから世界中に見入ってしまいました。「サンピエトロ大聖堂」は法王の退位のため、昨日は二番目の窓に一晩中灯りがついていたとガイドさんが教えてくださったことがとても印象に残っています。これで七日間の全



▲レストラン「スコーリオ・ディ・フリージオ」にてピザ作り体験

ての研修を無事終了のはずでしたが、この日ドイツ国内が大雪に見舞われてフライトが乱れ、私たちは帰国できないというハプニングに遭遇しました。私たちはいったんドイツ・ミュンヘンに向かい、真夜中二時頃に航空会社で用意してくれた超高級ホテルに宿泊することになりました。部屋の雰囲気もカーペットもベッドもお風呂もたいへん豪華なものでした。しかし、お風呂に入ると疲れが溜まっていたのか、すぐに就寝してしまいました。朝食もフルコース料理かと思うような贅沢な



▲ヴァチカンにて

行き、ローマに再び来られるように願いを込めて後ろ向きにコインを投げました。そしてジェラートを食べ「ローマの休日」気分を味わいました。また、嘘つきが手を入れると食べられてしまうという伝説がある「真実の口」では、私をはじめ皆、手を食べられてしまうことなく記念写真を撮ることができ感激。夕食は一つ星リストランテ「ALLORO」です。今までのリストランテとは違い緊張感が漂っていません。周りを見ると、綺麗なドレスで着飾った女性と、スーツを着こなした男性ばかりです。セレブの世界で食事をしているんだなと思います。

そして二月十二日（火）研修最終日。「ヴァチカン美術館」の見学です。とても広く短時間では全て見ることは出来ませんが、有名な「最後の審判」・「キリストの埋葬」など、一度は見てみたいと思っていた絵画を見ることが出来ました。「システイーナ礼拝堂」はとても神聖な場所で、キリストの姿に涙を流している人もいてとても清らかな気持ちになりました。そしてなんと、この日、ローマ法王が生存中に退位するという歴史的な出来事に遭遇しました！街中を歩くたび報道カメラマンと出会い、ここから世界中にローマ法王の退位が報道されているのかと彼らに見入ってしまいました。「サンピエトロ大聖堂」は法王の退位のため、昨日は二番目の窓に一晩中灯りがついていてガイドさんが教えて

くださったことがとても印象に残っています。これで七日間の全ての研修を無事終了のはずでしたが、この日ドイツ国内が大雪に見舞われてフライトが乱れ、私たちは帰国できないというハプニングに遭遇しました。私たちは帰国できないというハプニングに遭遇しました。部屋の雰囲気もカーベットもベッドもお風呂もたいへん豪華なものでした。しかし、お風呂に入ると疲れが溜まっていたのか、すぐに就寝してしまいました。朝食もフルコース料理かと思うような贅沢な品々が並んでいます。私はシェフを目指す者として、全種類の料理を味わいました。その後はフライトも順調で帰国の途に就けることになりました。帰国後、車中でおにぎりを食べている時、日本に帰ってきたのだと実感しました。学校に着くと、出発時同様に、多くの先生方と保護者の方々に迎えていただきました。両親の顔を見たらほっと安心しました。フランス研修の時同様、旅行中は緊張していたのだなと思いました。

私はこの研修旅行で様々な事を感じ、学びました。アピシウス料理学校では、言葉も大切だけど料理を楽しむことが必要だと学びました。また同行した安野先生の日本料理を地元の人たちに食べてもらい、日本の良さを理解してもらいました。お料理を通じて人と人が繋がれるのは素晴らしいことだと思います。ピザ作りでは、私たちは新しい小麦粉を使いますが、イタリアでは、古い粉の方が好まれるなど気候によって色々と食材の扱い方も変わることが学びました。フランス研修旅行でも感じたことですが、語学力（英語）は必要不可欠だなと思いました。今回の研修旅行はハプニングもありましたが、とても良い経験になりました。このような素晴らしい研修にしてください。三上先生・安野先生、二年連続で海外研修に参加させてくれた両親に感謝しています。いつの日か、自分自身が立派に成長することが恩返しになることと思っています。それまでもう少し温かく見守ってください。ヴィヴァ！イタリア、グラッツェ！イタリア。ありがとうございます。

古川東中学校お礼状

昨年十一月二十二日（金）、宇都宮共和大学と宇都宮短期大学の学生が先生とともに、東日本大震災で被災した、宮城県の古川東中学校を訪問しました。震災以来、三年間も不便なプレハブ校舎ですぐすく中学生を励まそうと、改築された体育館の竣工記念コンサートを行いました。おみやげとして本校調理科生徒が心をこめて作ったパウンドケーキが、中学生の皆さんの心に届いたことと思っています。

今回、中学生の保護者の方から、お礼の手紙をいただきましたので紹介します。

こんにちは。突然お手紙を出すことをお許しください。

先日は遠いところわざわざ息子の中学校へいらしていただき、有難うございました。その時、東中生全員にお菓子を配っていただいた事そのお気持ち本当に嬉しくペンを執りました。

古川東中学校は、東日本大震災で校舎が全壊、息子の入学前の話ですが、生徒たちは分散して各学年毎、別の中学を間借りして授業を受けたそうです。その影響で、今も部活動は他の学校の体育館を借りたりと、満足な練習も出来ません。それにもめげずに、生徒達は頑張っています。沿岸部のような支援はなくても、六百人強の生徒達が、仮設校舎で自分達に出来ることを精一杯やっています。それを理解してくださった皆さんが、こうしてわざわざ手作りのお菓子をプレゼントしてくださって本当に感激しました。本当に大変な作業だったのではないですか？

三・一一を経験して、食べることは生きることそのものだと感じました。雪が降って余震が続く中、懐中電灯を点けて食パンと缶詰を開けて食べました。あの夜の夜はリビングに布団を敷いていつでも外へ出られるよう服を着込み、それでも寒くて、息子は靴下を重ねてはいて横になっていました。寒さをしのぐために食べ物食べて体温を上げるといことが難しく、雪山にいろような感じでした。（普段はファンヒーターなのでストーブを使っておらず、全くの暖房なしでした）片付けては揺れ、片付けては揺れの繰り返しで、夜はただ布団で

ラジオを聴きながら揺れの怖さと寒さのなかで、ビスケットを食べていたんです。私達はその時から、一枚のビスケットを割って食べるようになりました。いつライフラインが回復するかわからない、見通しも立たない時に、「今はまだ大丈夫だから少しづつ食べよう」ということで、あの日あの夜から一つの食べ物を分け合って食べています。ですから貴校手作りのパウンドケーキも分けていただきました。

これから益々寒くなりますが、お体を大切にして勉強を頑張ってください。

調理科の皆さん、本当に有難うございました。

喜藤 弘子 より



学園ニュース

新設部活動！ スポーツチャンバラ&応援団

ますます盛んになる本校部活動に、スポーツチャンバラ部と応援団が新設されました。



スポーツチャンバラとは、「チャンバラ」を「エアーツフト剣」と称する用具を用いてスポーツとした競技で、一九七一年（昭和四十六年）に日本で始まった競技です。現在では、世界で愛好者が三十八万人を数えるほど盛んになってきています。

創部間もない「スポーツチャンバラ部」ですが、中学生の時に世界チャンピオンに輝いた野沢大喜くん（応用文理コース一年）を中心に、各種大会で早くも実績をあげています。

【第二回郵便局長杯争奪兼第十四回

栃木県スポーツチャンバラ選手権大会】

中学生以上有級小太刀

優勝

松田 英樹

中学生以上有級長剣フリー

三位

三位

初段以上長剣フリー

三位

県内大会小太刀中高校生

準優勝

【第三十九回全日本選手権大会】

三・四級小太刀

準優勝

【第二回大田原市長杯大会】

中学生以上長剣フリー

三位

中学生以上一般】

準優勝

中学生以上有級長剣フリー

三位

大谷 昂生

岡 翔平

野澤 大喜

岡 翔平

野澤 大喜

岡 翔平

松田 英樹

松田 英樹

松田 英樹

松田 英樹

野澤 大喜

野澤 大喜

高木 泰雅

高木 泰雅

応援団は硬式野球部の試合での応援を目的として、昨年、急きよ集まった団員で構成されましたが、今年度から正式な部活として活動を開始しました。今年度は野球部の試合だけでなく、各運動部の試合で熱い応援を披露しています。また、昨年十一月の学校祭の野外ステージでも応援を披露し、一般の方々からも大好評でした。



音楽科特別授業
アコーディオン
伊藤 浩子さん 来校

本校音楽科卒業生のボタン・アコーディオニスト伊藤浩子さんは、フランスと東京を拠点に世界で活躍されています。昨年十月十五日、帰国に合わせて本校



に来てくださり、後輩の生徒たちにアコーディオンの魅力と楽しさを体で味わうという趣旨で、「世界の音」を伝える授業を行っていただきました。
演奏の合間には高校時代の話、フランスへ渡ってからの苦難を乗り越えて今につながっていることなど貴重なお話をしていただき、生徒たちも引き込まれていきました。これから大きくはばたこうとしている生徒たちにとって、とても価値のある授業となりました。

生活教養科・調理科

関東農政局長賞受賞！



調理科と生活教養科の「とちぎの食材を活用して、元気な街づくりに貢献」している活動が評価され、平成二十五年度「とちぎ地産地消費大賞」を受賞し、更に県から国に推薦され、この度、地産地消費優良活動表彰「関東農政局長賞」を受賞しました。

昨年十一月十一日（金）、農林水産省関東農政局宇都宮地域センター長が本校に来校され、校長先生と調理科・生活教養科の代表生徒に表彰状を授与してくださいました。

国際理解弁論大会

最優秀賞・県知事賞受賞！



昨年十月二十五日、栃木県立博物館にて行われた、第五十回高等学校国際理解弁論大会で、本校二年三組（特別選抜コース）の沼野井万希子さんが、最優秀賞および県知事賞を受賞しました。論題は「ことばを伝える」。異なる綴りの裏にある世界共通の気持ちを伝えていきたいという、沼野井さんの決意が力強く述べられた弁論でした。

沼野井さんは今年七月に行われる、第三十八回全国総文祭弁論部門への出場も決定しました。

サッカー部

全国高校サッカー選手権大会栃木県大会で

堂々の準優勝！

昨年十一月十六日（土）、県グリーンスタジアムにおいて矢板中央高校とおこなわれた決勝は、激戦の末0-1で敗れ、惜しくも準優勝となりました。

試合当日は、本校の一般生徒や吹奏楽部に



よる応援もあり、選手たちは誇りを持って戦うことができたということです。また、試合会場に行けなかった生徒たちも、本校小ホールでテレビ中継を観戦し、声援を送りました。

二〇〇〇年創部の若いチームですが、今回決勝までたどりついた自信と、優勝できなかった悔しさを胸に、次は必ず優勝できるように練習に励んでいくということです。

演劇部 第三十五回栃木県高等学校総合文化祭
演劇研究大会で

優秀賞受賞！



昨年十一月二十三日・二十四日に開催された演劇研究大会で「優秀賞」を受賞した本校演劇部の演目は、「水平線の歩き方」。ピークを過ぎた三十五歳のラグビー選手の苦悩と葛藤を描いた作品です。来場いただいた一般の方々

からは、「高校演劇ってここまでできるのか！というくらい衝撃を受けた」などの声をいただき、観客を楽しませた学校に贈られる「生徒講評委員奨励賞」も同時受賞しました。

全国短歌フォーラムin塩尻「学生の部」 松本佳純さん入選

第二十七回全国短歌フォーラムin塩尻において、二年一組（中高一貫コース）松本佳純さんの作品「授業中あなたが起こしてくれるからわたしはいつも寝たふりをする」が入選を果たしました。

このコンクールには、全国の児童・生徒から一万五千四百首もの作品が寄稿され、その中から入選はわずか五十九首。昨年十一月三十日（土）に長野県で開催された表彰式には、コンクールの選考委員でもある、歌人の穂村弘氏と小島ゆかり氏も来場されました。松本さんは賞状を授与されるとともに、穂村さん直筆のサインもいただき、たいへん感激したということです。



全国商業高等学校英語スピーチコンテスト 全国大会二位！

平成二十六年一月十二日（日）に実施された、第三十回記念全国商業高等学校英語スピーチコンテスト・リレーションの部で、二年一組の相馬彩楓さん（中高一貫コース）が二位入賞を果たしました。

相馬さんは、昨年の夏休み頃からコンテストに向けて準備を重ねて十月の県大会で優勝、栃木県代表に選出され、今回の快挙となりました。チリ鉱山の地盤陥没事件を題材としたスピーチは、審査委員の先生から「元気が出るスピーチで良かった」と評価していただけたものでした。



◆ ◆ 校 史 と 校 章 ◆ ◆

須賀学園は、昨年11月3日で創立113周年の記念日を迎えましたが、その3年前には創立110周年を記念して式典や演奏会、学校祭、大学祭が開催され、本学園の教育実践の全容を広く内外に示すことができました。

思えば、本学園は、明治33年(1900年)に須賀栄子先生によって創立されました。栄子先生は、女子に最も喫緊な技芸を教授され、その時代と境遇に順応すべき実践的婦人の養成を本学教育の趣旨となし、共和裁縫教習所から明治34年共和裁縫女学校、大正13年宇都宮須賀女学校、昭和7年宇都宮女子高等職業学校と校名を改め、学校を発展させてゆかれました。その後を第2代校長の須賀友正先生が受け継がれ、昭和21年須賀高等女学校、同23年学制改革により宇都宮須賀高等学校と校名変更をし、さらに同42年宇都宮短期大学(音楽科)を新設し、現在の宇都宮短期大学附属高等学校となりました。

その友正先生の後を引き継がれたのが、第3代現校長の須賀淳先生です。先生は、昭和58年宇都宮短期大学附属中学校(中・高6か年一貫教育)を併設され、宇都宮共和大学の開学、宇都宮短期大学の学科増設、須賀学園教育会館および第2グラウンドの新設と、ますます学園を発展させ現在に至っています。

本校の生活目標である「一人は一校を代表する」という言葉(本誌の巻頭を参照)の意味は、本校生徒の一人一人が、それぞれに自らの価値を知り、その価値を自覚して生活することこそ人間の大きな喜びにつながり、幸福への第一歩にもなるというものです。ここには、創立者須賀栄子先生が掲げられた「全人教育」の精神が、100余年かわらずに脈々と生きづいています。

また、現在に至るまで、本校にはいくつかの校章がありましたが、現在の校章は、カタカナの「ス」の文字を3個組み合わせさせて図案化した須賀家の合印で、その中央に「高」の文字が挿入されています。(合印とは、昔戦場で敵味方が入り乱れて戦うとき、その背に負って、敵か味方かが見分けられるようにしたものです。)これは、須賀家の家系譜からデザインして第2代校長の須賀友正先生が校章と定められたもので、文字は金色、生地は純白色ですっきりとしており、いかにも清潔な感じのする校章です。現校旗と同じ、昭和34年11月3日に、創立60周年記念事業の一環として制定されました。



県庁de愛ふれあい ハイスクールファッションショー
25.12.18 -県庁本館ロビー大階段にて- (生活教養科)